

奈良県保育士等実態調査の結果

県では、今後の保育士確保対策について検討する基礎資料を得るため、県内の保育施設、保育士登録者、保育士養成施設及び養成施設の学生を対象に「保育士等実態調査」を実施いたしました。

この度、調査結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1 調査内容

(1) 保育士登録者用調査

- 調査対象：県内在住の保育士登録者約16千人から6千人を抽出
- 調査方法：アンケート調査（郵送）
- 回答数（率）：有効回答数2,981人（有効回答率49.7%）
- 調査内容：潜在保育士：属性、退職理由、再就職に関する事、再就職の際に求めるサポート等
現任保育士：属性、現就労状況に関する事、仕事を続けていくため必要なサポート等

(2) 保育施設用調査

- 調査対象：県内全保育施設（内訳）認可保育所（私立99か所、公立98か所）、認可外保育施設（事業所内保育施設、へき地保育所含む）の計285か所
- 調査方法：アンケート調査（郵送）
- 回答数（率）：有効回答数232か所（有効回答率81.4%）
- 調査内容：就労者の属性、就労形態、賃金に関する事、潜在保育士の雇用、希望する雇用形態、離職防止のための方策等

※先進的な取組を行っている一部の保育所に対し、今後ヒヤリング調査を実施予定

(3) 保育士養成施設用調査

- 実施対象：県内の指定保育士養成施設全8施設
- 調査方法：施設及び学生へのアンケート調査
- 回答数（率）：8施設（100%）
- 調査内容：施設：卒業生の就職状況（県内外の就職状況）、就職率を高めるための方策、卒業生に対する支援の状況
学生：保育士になりたくない理由等

2 調査期間

- (1)(2) 平成25年 9月 6日（金）～ 9月20日（金）
- (3) 平成25年10月 1日（火）～10月24日（木）

3 調査結果

別添のとおり

4 今後の予定

有識者から成る検討会を設置し、保育士確保対策に関する提言を盛り込んだ最終報告書を作成予定（平成26年2月）